

接続料政策委員会（第61回） ワイヤレス固定電話の接続料の在り方_ご質問に対する弊社回答

2022年4月20日

KDDI株式会社

au

UQ
mobile

povo

質問1-1/1-2

【質問1-1】メタルIP電話回線の配線設備の減分設備原価が接続料原価に影響を与えるものであるか、また、資料1-2においてNTT東西から示されたワイヤレス固定電話の導入スケジュールも考慮して、その影響の程度をどのように考えるか。

【質問1-2】質問1-1への回答を踏まえ、接続料の算定に際して何らかの対応を講じる必要があると考えるか。

(回答)

【質問1-1】

- 現行LRICモデルでは、ワイヤレス化されたメッシュにもメタル回線の需要が配賦され、配線設備コストが計上されますが、特に収容局に帰属するメッシュが全てメタルIP電話からワイヤレス固定電話へ移行した場合に接続料原価に影響があるものと想定しています。
- 影響度合いは、導入回線数だけでなく導入エリアによっても異なりますが、NTT東西から示されたワイヤレス固定電話の導入スケジュールは、10年後の提供回線数が10万回線前後と想定されること、提供開始数年後の時点では、1万回線に満たない程度に留まると想定されることのみと認識しており、現時点では具体的な影響を想定することは難しい状況です。

【質問1-2】

- 1-1の考察と、ワイヤレス固定電話導入初期の影響は軽微であることを踏まえ、NTT東西の導入実績と将来計画が具体化すると想定される次期LRICモデル検討時に、接続料原価への影響把握とモデル改定（要否を含む）を検討することが適切と考えます。

au

UQ
mobile

povo